

桜江町から学ぶこと

江津市立桜江中学校

三年 小林穂花

「お湯はりをします。」明るい音声と共に、浴槽に水が入っていきます。これは我が家だけではなく、全国のいろいろな家庭で日常的によく見られるようになった光景だと思います。ボタンを一つ押せば、お湯が出てきたり、蛇口を少しひねれば、水が出てきたり、この便利な世の中に生まれてきた私達にとっては、極々普通に、当たり前のことのように毎日繰り返されていることです。

私が住んでいる桜江町は、周りを山に囲まれた、とても自然豊かなところです。そしてこの桜江町には、「中国太郎」と呼ばれる、中国地方で一番大きな川、江の川が通っています。小学生の時、私達は、この江の川の水質調査を行いました。川に住んでいる生物から、水の汚れを判断するもので、私達はみんなで一生懸命になって石の裏などにいる生物を探しました。そして、その生物から、江の川の水はきれいだという結果が出ました。その時、私はまだ小学生だったので、江の川の水がきれいで良かったと思っただけでした。しかし、今考えてみると日本でも大量のゴミによって、汚染されていく川が増える中、自分たちの住んでいる町の川がきれいだったということは、誇りに思うべきことだと思いました。

中学生になってから、私の水に対する意識が少し変わってきたような気がします。それは、小学生の時に水質調査をしたということもありますが、もう一つ、これは、中学校の授業でのことです。私達は、授業の中で桜江町内のある滝に行くことになりました。私は実際に滝を見るのは初めてだったので、行く前から、とても楽しみにしていました。着いてみると、そこは少し山の中に入ったところで、たくさんの木々に囲まれた中にありました。私は、上から水が落ちてくる迫力と、流れる水のきれいさにとても感動しました。なんて透明できれいな水なんだろう、と見ているだけで、心もきれいになるような気がしました。しかし、

それと同時に、このきれいな水を何人の人が見ることができるのだろうと思いました。

今、世界では、気候の影響などで、雨が降らず、飲み水にさえも困っている人達がたくさんいます。ドロで汚れ、細菌の混じった危険な川の水を飲み、生活をしている人達もいます。そんな中で、きれいで豊かな水に恵まれた私達がゴミを捨て、油や洗剤などを流し、きれいな川や海を汚してしまっているのでしょうか。

私は、ボタン一つで簡単に水を使うことができるようになったことも、水を汚している一つの原因になっていると思います。私達一人一人が水のあることの大切さに気付けないでいると思うからです。私はこうやって水の大切さに気付いたことで、より水を大切にしていこうという思いが深まりました。そのために私も今、歯みがきや手洗いの時には水を流しっぱなしにしないことや、皿を洗う時には洗剤をあまり使わないことを心がけています。こんなとても小さなことでも、みんなが少しずつやれば変わっていくと思います。ボタンを押したり、蛇口をひねったりするだけで、簡単に水が手に入る今なら、もう一度押したりひねったりするだけで、大切な水を節約し、守ることにつながることができます。

自然が豊かで、きれいな水に恵まれたこの桜江町に生まれたからこそ、この豊かな自然ときれいな水を守っていかなければいけないと思いました。そして、少しでも早く世界中の水があつた滝の水のようにきれいになって、少しでも多くの人達が安全できれいな水を飲んだり、安心して水を使ったりできるようになればいいと思いました。